

## 【 とらえかた 】

合宿時に毎回開催しておりますキッズサッカー教室は5月4日に品川で開催されましたデフリーグと10日に関西のイベントで行われましたので実施しませんでした。7月の静岡合宿では計画しておりますので楽しみにしてください。今回合宿前に選手に資料を配布したのは限られた時間の中で意識の統一を図るためであり、同じ練習をしても違う意識でやっていたら違う内容になってしまうからです。一つ一つの言葉もそうですが、大切なのは言葉の真意をお互いに同じ方向へ感じることです。また、ひとつの手話がいくつもの意味を持つ場合があります。前後の言葉や状況が変わってしまい誤解が生じてしまいますので指導の中でも注意しています。普段から選手のことを考えておりますが、同じような状況で以前はできていなかった事をやろうとしている、できるようになっている時はすごく嬉しくなります。まずは自分がいい所を見つけることにより、好きになる努力をしてこちらを好きになってもらう努力をします。これは、人を変えるのではなく自分が相手の見方を変えることによってその人のいいところが見えてくる効果があります。自由と好き勝手は大きく意味が違います。自分のことのみを考えてばかりで自分がボールを失うことを恐れて仲間のプレーを見ているだけで関与しようとしなない選手や、自分がしたいプレーのみで仲間の考えを理解しようとしなない選手は本当にチームのことを考えていますでしょうか？なぜこの場面でこの練習を行っているのかを今一度よく考えてプレーしてほしいと強く思っております。例を上げるとこの半年の間に「渡邊」のオフザボールの動きが格段に向上しておりました。相手をよくみて逆をとることができマークをはずすタイミングがよくなり、まわりをしっかりと観ることにより次のプレーのイメージを持つことができるようになったことにより全体なプレーが成長していました。自分にはないものを受け入れることはすごく難しいことですが、素直に足りないところを認識しながらも努力することによって人間的にも成長していました。どれだけ素直に人のアドバイスを聞き、どれだけ吸収する力を持っているかは今までの環境で決まっています。敵がない状況では足先の技術は日本人の方が上手いと思いますが、その時にどういった判断（シュートなのか、パスなのかなど）をすればいいのかをもっと磨いていく必要があります。基礎技術は、確かに疎かに出来ない部分ですがその技量を重視しすぎて「頭」の練習が不足しているのではないかと思います。ボールの位置、相手の位置、味方の位置から自分のポジションを決めますが、サッカーは大きく分けて個人戦術、グループ戦術、チーム戦術、ゲーム戦術の4つと考えますと、今後どう組み立てていくかが大事です。代表選手ならば個人戦術ができるのは大前提で、あとはグループ戦術、チーム戦術、相手がどう来るかというゲーム戦術です。チームが集まれる時間は限られていますので、今後は個人戦術やグループ戦術の時間を減らしていき、チーム戦術・ゲーム戦術に時間を割いてお互いの関係とか、このメンバーは噛み合わせがいいとかいう確認をしていこうと考えています。